

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【公開番号】特開 2011-3485 (P2011-3485A)
 【公開日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-001
 【出願番号】特願 2009-147285 (P2009-147285)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

H 0 1 M 8/24 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/02 S

H 0 1 M 8/10

H 0 1 M 8/24 E

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 20 日 (2012.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

この燃料電池スタックは、第 1 のセパレータと、第 1 の前記セパレータの一方の面側に配置される第 2 のセパレータとの間に設けられる第 1 のシール部材の積層方向のシール高さは、第 1 の前記セパレータと、第 1 の前記セパレータの他方の面側に配置される第 3 のセパレータとの間に設けられる第 2 のシール部材の前記積層方向のシール高さと異なる高さに設定されるとともに、前記第 1 のシール部材の弾性率と、前記第 2 のシール部材の弾性率とは、同一に設定されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、この燃料電池スタックは、第 1 のシール部材の重心点からセパレータ面方向に沿って設けられた仮想線と前記第 1 のシール部材の表面との交点を繋ぐ幅寸法と、第 2 のシール部材の重心点からセパレータ面方向に沿って設けられた仮想線と前記第 2 のシール部材の表面との交点を繋ぐ幅寸法とは、異なることが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電解質の両側に電極を配設した電解質・電極構造体とセパレータとが積層されるとともに、前記セパレータには、シール部材が設けられる燃料電池スタックであって、

第 1 の前記セパレータと、第 1 の前記セパレータの一方の面側に配置される第 2 の前記セパレータとの間に設けられる第 1 のシール部材の積層方向のシール高さは、第 1 の前記セパレータと、第 1 の前記セパレータの他方の面側に配置される第 3 の前記セパレータとの間に設けられる第 2 のシール部材の前記積層方向のシール高さとは異なる高さに設定されとともに、

前記第 1 のシール部材の弾性率と、前記第 2 のシール部材の弾性率とは、同一に設定されることを特徴とする燃料電池スタック。

【請求項 2】

請求項 1 記載の燃料電池スタックにおいて、前記第 1 のシール部材の重心点からセパレータ面方向に沿って設けられた仮想線と前記第 1 のシール部材の表面との交点を繋ぐ幅寸法と、前記第 2 のシール部材の重心点からセパレータ面方向に沿って設けられた仮想線と前記第 2 のシール部材の表面との交点を繋ぐ幅寸法とは、異なることを特徴とする燃料電池スタック。